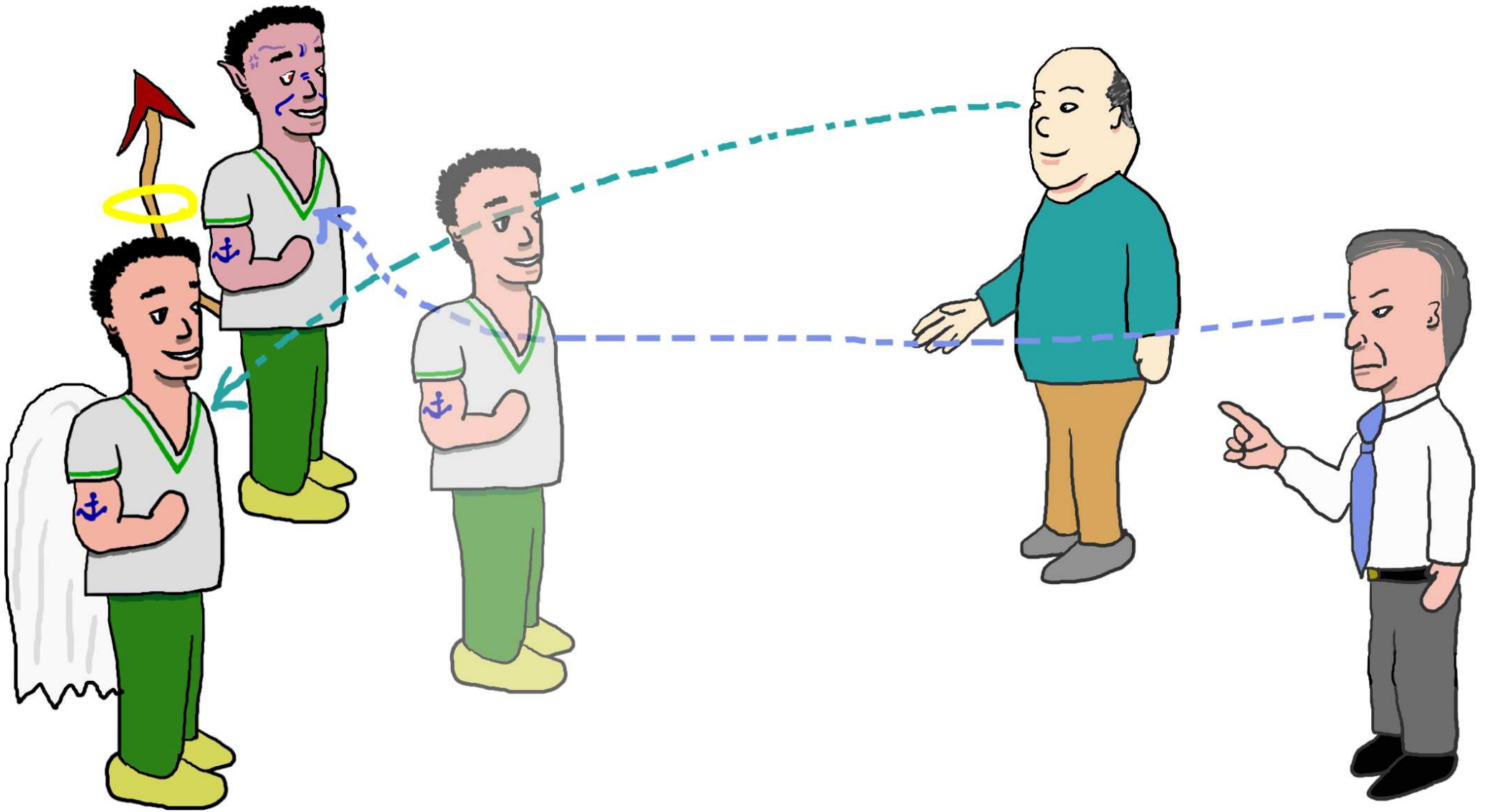


素直になれない



東郷 潤

あるところに、悪戸ミル吉さんと善戸ミル彦さん、それから刺青をした刺青太郎さんがいます。悪戸ミル吉さんは刺青太郎さんを悪人だと思っています。善戸ミル彦さんは刺青太郎さんを善人だと思っていますⁱ。



悪戸ミル吉さんは、刺青太郎さんを
悪人だと思っているので、悪人とし
て扱います。



一方で善戸ミル彦さんは、刺青太郎
さんを善人だと信じているので、「悪
戸ミル吉さんが刺青太郎さんを差別
している」と思いました。



むろん善戸ミル彦さんは、悪戸ミル吉さんの差別をやめさせたいと思いました。



ひどい差別だ！
なんとかしないと

さあ、善戸ミル彦さんは、どうする
でしょうか？ そして悪戸ミル吉さん
は、どう反応するでしょうか？ ここで
二つのケースをご紹介します。差別
の解消と固定化の分かれ道です。

[ケース1] 差別は認識の違いによるもの

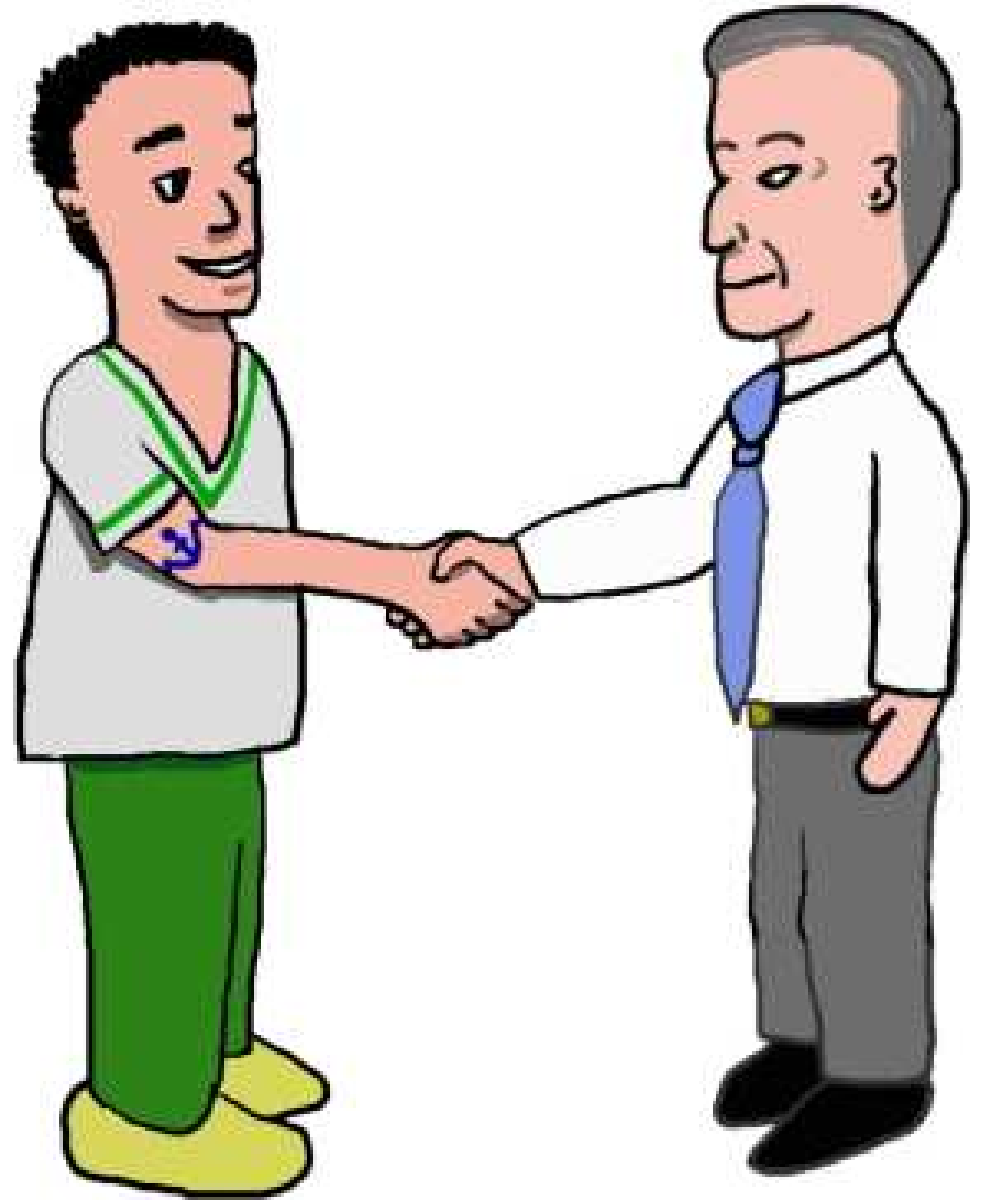
**善戸ミル彦さんは悪戸ミル吉さんに、
こんな情報を提供しました。悪戸さ
んが刺青さんを誤解していると思っ
たからです。**

**この新聞見た？ 刺青太郎さんが
人命救助をしたって。すごいね**



**え？ そうなんだ。
彼は見かけによらず、
立派な人なんだね**

刺青太郎さんへの認識を修正した悪戸さんは、むろん、それからは刺青太郎さんを、立派な人として扱うようになりました。立派な人を立派な人として扱うのは、当たり前のことにはすぎません。



では次は、善悪の錯覚が絡んだケースです。

[ケース2] 差別は悪だ／差別する人は悪人だ

差別は悪です。差別を許してはいけません。善戸ミル彦さんは悪戸ミル吉さんに強く意見しました。

**人を差別するのは、
悪いことだと思う！**



**そうだね、
僕もそう思うよ**



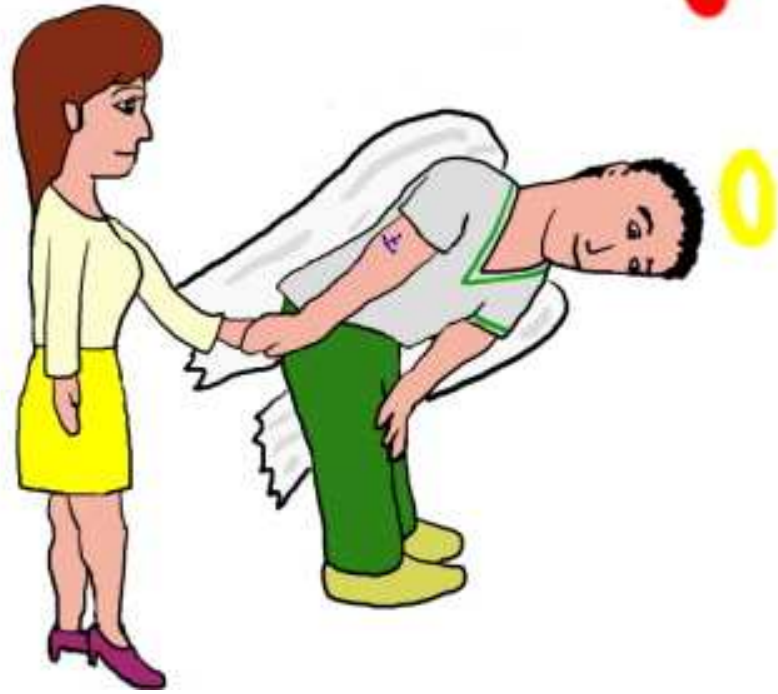
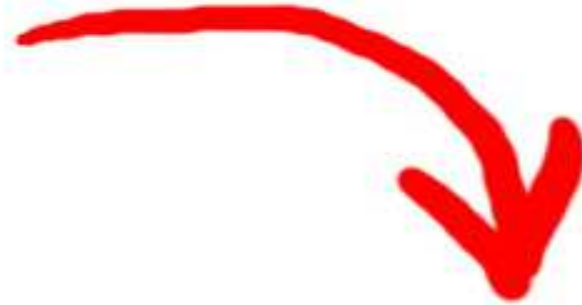
そうじゃない、あなたの刺青太郎さんへの態度のことを言ってるんだ！ この新聞記事を見なさい。刺青さんは、人命救助で表彰されたことがあるんですよ！



**な、なんだって？
刺青太郎が人命
救助だって！？**



もし刺青さんが悪人ではなく善人だとすると、悪戸さんは差別したことになると思います。そして差別は悪人がすることです。 . . . つまり、こういうことです。



な、なんだと！
俺が悪いって言うのか！？

こんな新聞、
嘘に決まってる！

いーいーいー



あとがき —絵本「素直になれない」

本絵本は差別をテーマとする絵本集の1作品です。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、ぜひ他の方にもご紹介いただきたくお願い致します。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を

除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2013

i ● 刺青の有無と善悪の関係について、一切の主張をするものではありません。 ● 状況設定は、絵本「悪い善い人—1」と同じです。